

予算額：7,000千円

発達障害のある生徒や学生に対し、特性に応じた進学・就労支援(キャリア支援)が実施できるよう、キャリア支援コーディネーターを配置して高校・大学の特別支援教育コーディネーターや学生支援担当者への支援を行う。また、プログラム普及員を配置し、支援プログラムを県内の高校・大学および市町・圏域の支援機関に普及し、特性に応じたキャリア支援の実現と身近な地域での支援体制の強化を図る。

27・28年度の  
事業実績

○平成27年度事業：県南部の私立6高校・7大学を対象として延べ121回支援(学生支援担当者へのコーディネート支援等)  
 ・定期的な学校訪問によるSSWと連携した早期からの進路相談開始  
 ・大学担当教官との連携による学生への障害自己受容  
 ・地域の支援機関との連携支援による登校状況の改善  
 ○H28年度事業：これらの成果と課題を踏まえ、事業継続。(上半期318回支援)モデル事例の成果をもとに本人の状況に応じて活用できるキャリア支援プログラムを作成。

継続課題

・本人、保護者の障害受容の必要性は認識しているが学校にアプローチ手法が定着していない。  
 ・差別解消法により在学中の合理的配慮の提供については意識が高いが、卒業支援を引き継ぐ機関についての知識や活用の仕方、つなぎ方を知らない。  
 ・心理職(スクールカウンセラー)等が配置されているが、心理的要因へのアプローチのみとなり、その後の支援が途切れたり問題が先送りになったりする。

キャリア支援プログラムの普及の必要性

## 発達障害キャリア支援プログラム

対  
応

- ・障害受容支援(自己受容支援)
- ・進路(就労・進学)相談
- ・関係機関へのつなぎ方
- ・引継ぎの内容と方法
- ・個別の指導計画作成支援 等

### モデル地域(大津・南部地域)



高校



大学

事例蓄積

発達障害者のキャリア支援に高い専門性、支援実績を持つ社会福祉法人夢翔会に委託

★**キャリア支援コーディネーターの配置**：  
 学校に対する本人及び保護者の障害受容支援、アセスメント能力の向上支援、関係機関との連携調整支援、研修・助言の継続、事例の蓄積 等

就 労 (一般就労・障害者雇用)、その他の進路

事業効果

発達障害者へのキャリア支援プログラムを使用し、継続支援を行うことにより、  
 ○本人、保護者の障害受容や自己理解へのアプローチが各学校で適切に行われ、合理的配慮が提供できる。また進路先への引継ぎが可能となる。  
 ○個に応じたキャリア支援により、進路先でのスムーズな適応につながる。また、発達障害が二次的に発展する前に早期の対応が可能となる。  
 ○高校・大学と地域の支援機関の連携が実現し、ニーズに応じた継続的な支援の提供につながる。

県内全ての高校・大学において発達障害のある生徒・学生に対する適性に合わせた進路支援の実現へ